

連携授業 於：南丹市立園部小学校 タイトル：「光のふしぎな性質を見つけよう」

講演者： 竹内繁樹（北海道大学教授）

日時： 平成23年 2月24日（木） 9:40～14:20

2校時・・・6年2組	27名
3校時・・・6年1組	27名
4校時・・・6年3組	27名
5校時	全体会 6年生 81名
6校時	講演会

メンバー：

- 研究者

北海道大学教授

竹内繁樹

博士研究員

岡野真之

- コーディネータ

京都教育大学教授

村上忠幸

ポラリスセクレタリズオフィス

笹部昌子

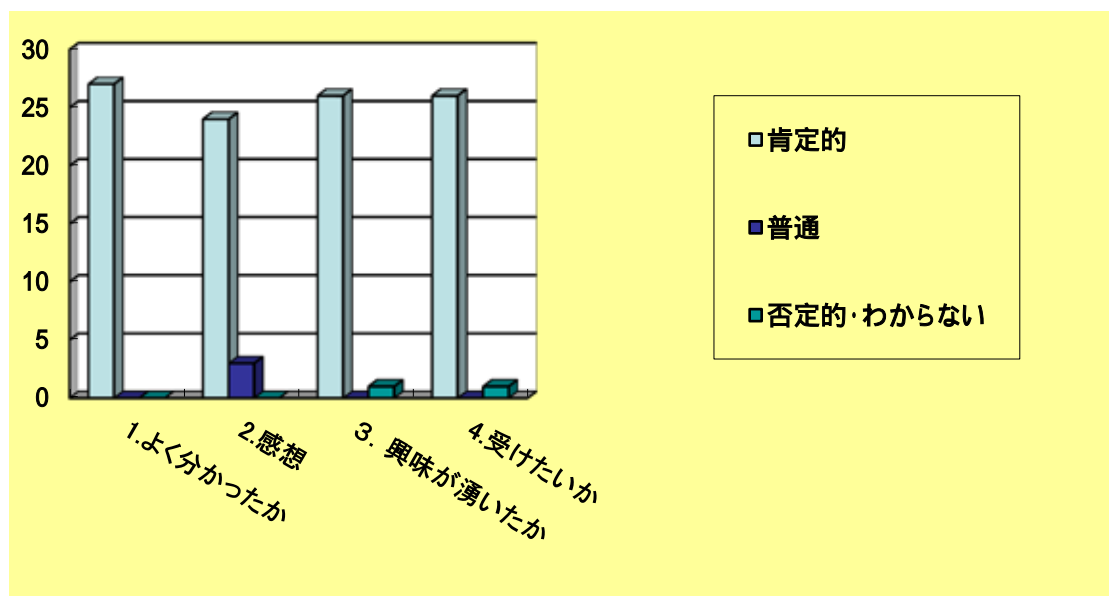
園部小学校教諭

新田早苗

- 京都教育大学 院生・学部生（TA）

11名

授業後の児童のアンケート結果：



園部小学校 6年3組 27名 2/25（金）実施

授業後の児童の感想

*研究をする人のイメージは変わりましたか。

- ・ガリレオのイメージとは違う、達成感で満ちあふれているイメージに変わった。農学部で研究してみたいと思った。
- ・変わった。まだ、解決していないことがたくさんあるから調べてみたい。
- ・将来研究をしてみたいと思いました。

*印象に残ったところは何ですか。

- ・偏光板が光を通すのと通さないのがあって偏光板が暗くなること。
- ・光の速さ
- ・音みたいに光も波と同じということ。
- ・粒と波のこと。
- ・光は光子がたくさん集まっていて、波の性質と鉄砲のような性質もあったということ。
- ・光の不思議な性質がわかった。
- ・いろいろな人物の考え（光に対して）を学んだこと
- ・レーザー光線はまっすぐ月まで届くということ。

*この授業を受けて、理科にたいするイメージが変わりましたか。

- ・理科は嫌いだったけど興味が湧いた。
- ・理科はおもしろいものなんだなあと思った。
- ・これまで知らなかったことを知ったのでイメージは変わった。

*授業で気になったこと、もっと勉強してみたいこと

- ・3D映像の光について
- ・光子について
- ・光のいろいろな利用の仕方
- ・光が解明されていないようなところ
- ・光の速度を測定したい。
- ・偏光について

成果：

- ・理科がおもしろい。楽しいと思える児童が増えた。
- ・最先端の研究者と小学校の連携授業の足がかりとなった。
- ・各班にTA（院生）を配置することにより、児童の気付きが増えた。
- ・授業の事前・事後アンケートをとることにより児童の変容がわかった。
- ・児童にとって身近なテーマ「光」 児童に興味・関心をもたせることができた。